

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成21年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	県民文化ホール	所管課	生涯学習文化課
所在地	甲府市寿町26番1号	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年11月23日
管理方式	指定管理者(アドブレン・共立・NTT-F共同事業体 平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例		
設置目的	芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与するため、県民文化ホールを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	大ホール(1,989人)、小ホール(700人)、会議室(257㎡)、リハーサル室(243㎡)、練習室 5室 うち3室(42㎡) うち2室(98㎡)、レストラン(約100人)		
主な業務内容	(指定管理者が行う業務を記入する。) (1)利用の承認に関する業務。 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 (3)文化芸術に関する催し及び講座の実施に関する業務 (4)舞台芸術の公演の実施に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	甲府市総合市民会館 大ホール(2,000人)、小ホール(300人)※アリーナ形式 河口湖ステラシアター 大ホール(3,000人)、小ホール(200人)※野外施設 東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール(1,000人)、小ホール(300人) ※2,000人規模の屋内音楽ホールととらえると類似施設はないといえる。
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度 (目標値)
利用者数	貸館利用者	268,942	280,239	298,707	
	事業参加者	17,951	15,723	26,796	
	利用者数合計	286,893	295,962	325,503	
	目標値			340,000	340,000
	目標値設定の考え方			前指定管理者の実績をもとに自主事業参加者の増加を図る。 (前年比15%増)	改修工事に伴う休館があるが、事業数拡大を視野に設定。 (前年比5%増)
	対19年度比	100.0%	103.2%	113.5%	118.5%
稼働率(大・小ホール)		64.6%	63.1%	67.2%	67.5%

4. 収支状況

単位：円、%

		平成20年度	平成21年度 (計画値)	平成21年度 (実績値)	平成22年度 (計画値)
収入	施設利用料	94,624,320	110,000,000	117,861,755	110,000,000
	指定管理者委託料	211,549,160	160,000,000	160,000,000	160,000,000
	その他	68,941,749	62,600,000	77,602,123	62,600,000
	収入合計(A)	375,115,229	332,600,000	355,463,878	332,600,000
支出	人件費	124,601,245	99,000,000	99,000,000	99,000,000
	県への納付金				
	管理運営費	233,748,102	233,600,000	251,400,652	233,600,000
	(うち外部委託費)(B)	114,656,909	81,900,000	78,560,724	81,900,000
	支出合計(C)	358,349,347	332,600,000	350,400,652	332,600,000
収支差額(A-C)		16,765,882	0	5,063,226	0
外部委託比率(B÷C)		32.0%	24.6%	22.4%	24.6%
利用者一人当りの経費		715	471	492	471

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成21年4月～22年3月 実施方法：貸館利用者へのアンケート(回答数：633人) 事業参加者へのアンケート(回答数：660人) 利用者目安箱の設置
-------	--

単位：%

調査項目		満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
主催者	①施設の充実度	94.7%	0.0%	3.7%	1.6%
	②音響照明装置	82.9%	16.3%	0.8%	0.0%
	③通路やロビー	81.9%	17.0%	1.1%	0.0%
	④窓口	91.0%	9.0%	0.0%	0.0%
	⑤サービス内容	94.2%	0.0%	4.6%	1.2%
	⑥施設の満足度	84.7%	14.7%	0.6%	0.0%
来館者	①スタッフの接遇	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%
	②ホール美化	73.0%	25.0%	0.0%	2.0%
	③施設設備	49.0%	26.0%	0.0%	25.0%
	④事業	95.0%	0.0%	0.0%	5.0%
各項目の平均		81.5%	13.9%	1.1%	3.5%

利用者の意見	①ロビーの休憩用の椅子が足りない ②有名アーティストを呼んでほしい ③利用受付、トイレ、チケットセンターの場所がわかりづらい
利用者の意見への対応	①ロビーに休憩用ベンチとして県産材を使用したベンチを多数設置した ②利用者のご要望に応えられるように各種プロモーターやアーティスト事務所などへ利用促進の営業活動を行っている ③施設内の誘導サインを見直し、新規に設置。わからないという意見が少なくなった

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、計画通り、適正に業務を執行した。尚、軽微(60万円以下)な不具合箇所については即時に対応した。	管理業務仕様書、業務計画書に示されたとおりの維持管理が適正に行なわれている。
運営業務	「山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例」及び「山梨県立県民文化ホール利用及び利用料金に関する事務取扱要綱」を遵守し、事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	業務計画書に基づき適正に運営されている。
自主事業	初年度のため一部の事業においては、計画変更となってしまったが、代替事業を実施した。また、助成金を活用することにより、計画外の芸術文化振興事業を複数実施することができた。	業務計画書に基づき適正に事業が実施されている。助成金を積極的に活用し、事業を行なったことは評価できる。
利用状況	入場者数・施設稼働率ともに全施設で前年度を上回ることができた。県民への周知・PR効果としては、毎月第3木曜日に21万部発行される山梨日日新聞「イベント&テレビ ウィークリー 県民文化ホールイベントインフォメーション」が認知されたこと、またイベントごとの新聞本紙への広告出稿・ラジオCM等への出稿も多くなり、入場者数増加に結びついた。	業務計画書に基づいた事業が実施されている。グループ企業の媒体を活用した広報活動、ホームページの充実など、利用者増加や利用率の向上を目指した多面的な取り組みにより利用実績が伸びた。
収支状況	指定管理1年目ということもあり、什器備品購入費・消耗品費・ホームページ構築費等の費用は計画より増加したが、施設稼働率の向上等による利用料収入の増加で収支バランスは確保できた。	指定管理1年目であることから、予想を上回る支出があったものの、利用料金収入やチケット販売収入の伸びなどにより約500万円の収益を得た。また、ホール運営に必要な備品の購入などを積極的に行なったことは評価できる。
利用者満足度	利用者アンケート・目安箱等の設置により利用者の声を収集し、早急に対応できることは実施できた。今後ともできるだけ多くの利用者の声を聞き、より一層のサービス向上に努めていく。	提案書、業務計画書に基づき利用者アンケートや目安箱の設置が実施されている。寄せられた利用者の意見を運営に活かすための体制も整っている。今後は主催事業の際のアンケートを積極的に実施されたい。
運営目標の達成状況	県民参加型の事業の実施、各年齢層のニーズを意識した事業の実施など、積極的な取り組みと創意工夫がなされた。施設の運営目標達成に努め、概ね達成している。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理業務、運営業務、自主事業等については、条例、提案書、協定書、業務計画書に基づき概ね適正に執行された。H22年度については、一層の施設稼働率の向上と利用者数の増加を図る多面的な取り組みを期待する。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	新規自主事業の実施や前年度からおこなっている各種プロモーターやアーティスト事務所などへの利用促進の営業活動を継続し、一層の施設稼働率と利用者数の増加を目指す。	

7. 管理体制(組織図)

(既存の組織図の画像コピーによる提出も可。)

